

ベトナムで日本の M&A 戦略が加速中

2025 年 4 月 1 0 日 作成

カテゴリー ベトナム M&A M&A 動向

ベトナムで日本の M&A 戦略が加速中

2024 年のベトナムにおける日本からの M&A（合併・買収）総額は約 1 億 6700 万ドルとなり、前年の 15 億 5000 万ドルから大幅に減少したものの、取引件数は 21 件に増加した。このことから、ベトナム市場に対する日本の関心が引き続き高いことが示された。特にサービス業、医療・医療支援、ハイテク、半導体、エネルギー分野が注目されている。

代表的な事例として、Elan 社による TMC ベトナム株式の 51%取得があり、これは医療関連分野における日本企業の投資戦略の変化を象徴している。ONE-VALUE がこの M&A を一貫して支援した。これにより、今後日本企業による M&A がさらに加速し、両国企業間の連携が一層深まることが期待されている。

また、ベトナムが Elan 社の東南アジア進出の第一歩として選ばれたのは、同国の私立病院の急増や医療支援サービスの発展可能性に注目した結果である。2025 年は、技術、金融、医療分野において日本企業がベトナムで本格的に展開する転機となる可能性がある。

さらに、グローバルな供給網の中国依存からの脱却も背景にあり、日本企業は AI や半導体といった分野への投資を強化している。一方で、ベトナム政府も半導体分野の投資誘致政策を強化しており、日本側との協業が進んでいる。

金融サービスやフィンテック領域も、日本企業の関心を集めており、個人金融ニーズの拡大が M&A による市場進出を後押ししている。今後は、ベトナム企業が日本市場への M&A 参入を狙う“逆 M&A”の動きも加速し、日越間の経済連携は新たな段階に入ると見られる。

以上